



平成30年9月台風24号による吉野川の出水状況 ～堤防整備やダム等により治水効果を発揮しました～

- 平成30年9月台風24号における9月28日23時からの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で約361mm、銅山川流域で約424mm、吉野川上流域（池田ダム流域）で約292mmを記録しました。（10月1日9時現在）
- 吉野川では、池田地点で「氾濫危険水位（8.00m）」に迫る水位7.99m（9月30日21:50）を記録しましたが、堤防整備の効果により、浸水被害を防ぎました。
- また、さめうら 早明浦ダム、とみさと 富郷ダム、やなせ 柳瀬ダム、しんぐう 新宮ダム、いけだ 池田ダムでは洪水貯留を行い、下流の被害軽減に努めました。
※富郷ダムおよび新宮ダムでは、事前に水位を下げる操作（事前放流）を実施しました。
※富郷ダムでは、洪水ピーク流量を確認後、特別な貯留操作を行いました。
- なお、吉野川上流ダム群の洪水貯留により、早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で約2.12m、新宮ダム下流の吉野瀬（四国中央市新宮町）地点で約2.08m、また三好大橋（三好市井川町）地点で約1.41m水位を低下させたと推定されます。

※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

平成30年10月4日

問い合わせ先

国土交通省 徳島河川国道事務所
TEL 088-654-2211(代表)
河川関係担当：○副所長(地域) 池添 好巨(内線206)
河川調査課長 梶取 真一(内線351)

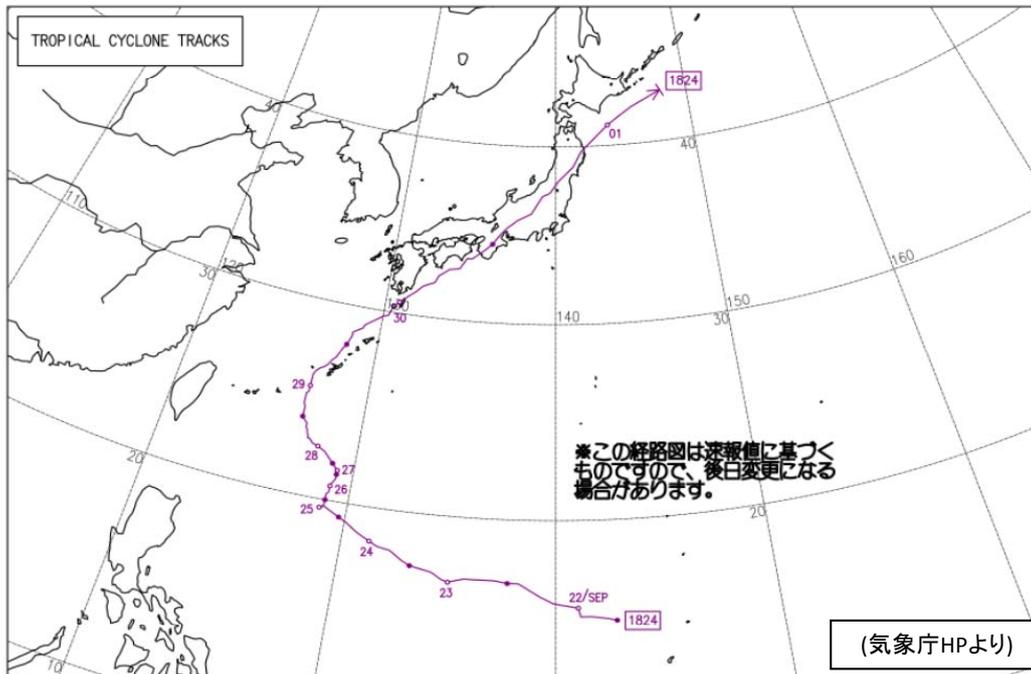
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
TEL 0883-72-3000(代表)
ダム統合管理担当：副所長 柳 忠和(内線204)
○管理課長 徳井 智(内線331)

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所
TEL 0883-72-2050(代表)
ダム操作担当：○第一管理課長 鈴木 敦(内線331)
○：主たる問い合わせ先

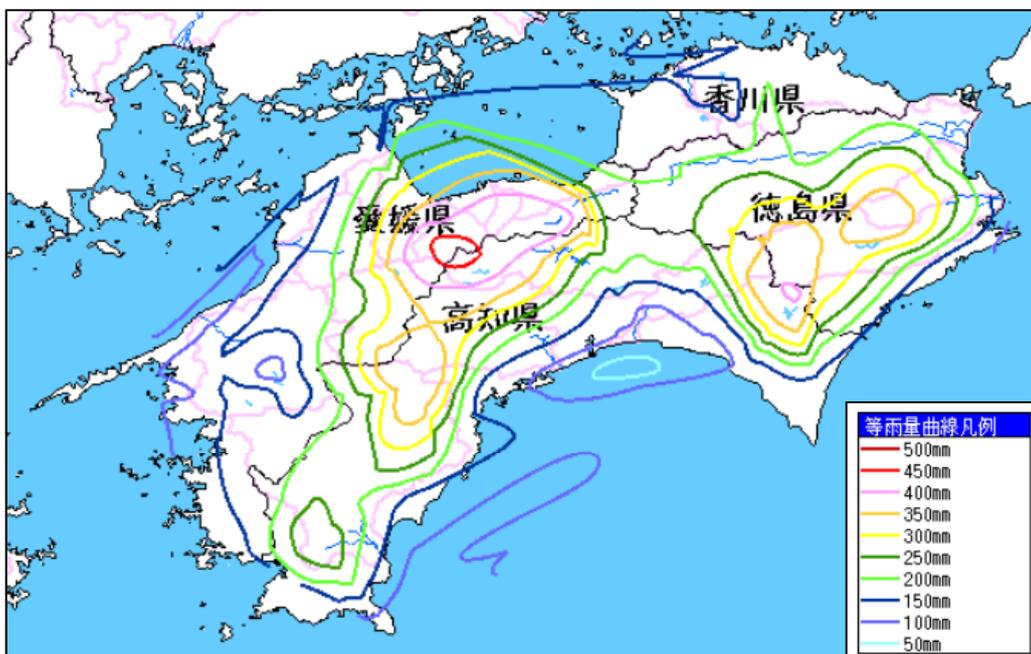
気象概況

～平成30年9月 台風24号による大雨の状況～

- 台風24号は大型で強い勢力を保ったまま四国沖を通過し、各地で暴風をとまなう大雨となった。
- これらの影響により、9月28日23時から10月1日9時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で約361mm、銅山川流域で424mmを記録した。



台風24号経路図

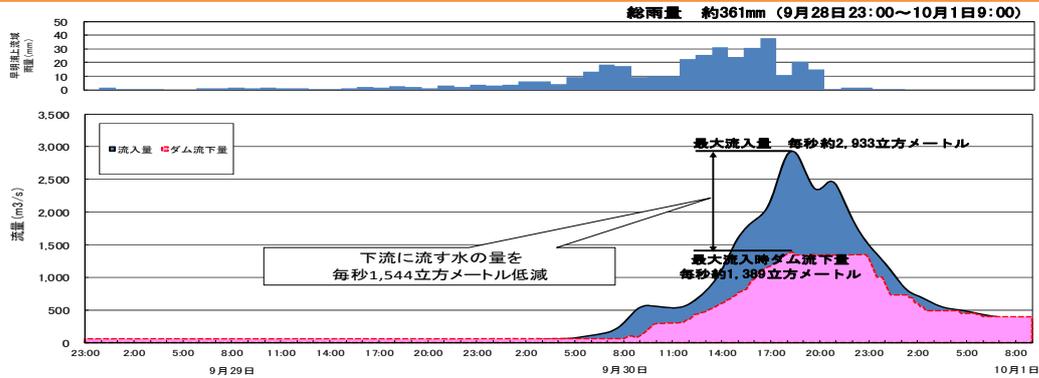


9月28日～10月1日の累計雨量分布

吉野川上流ダム群の洪水貯留効果

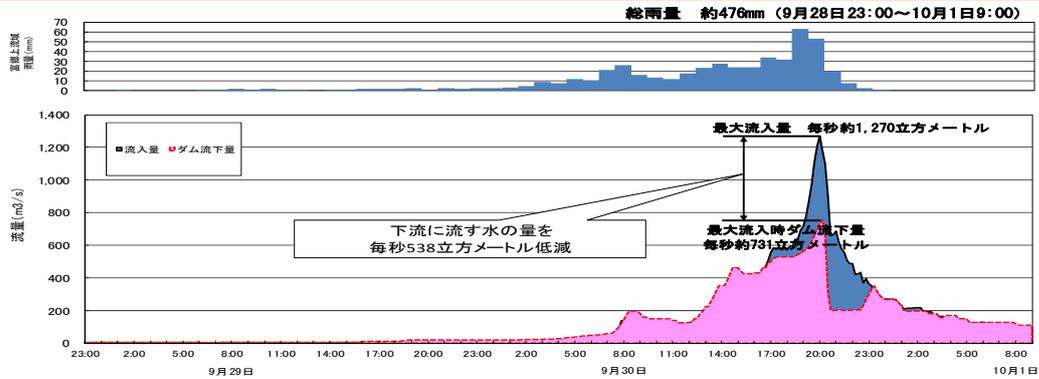
9月30日13時10分から10月1日1時30分までに**早明浦ダム**に貯留した量:約3,397万立方メートル(東京ドーム:約27杯分)

早明浦ダム



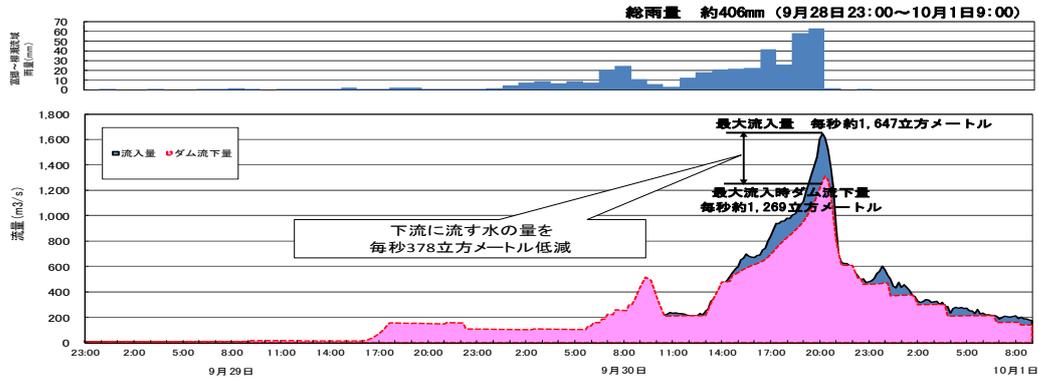
9月30日16時50分から9月30日21時50分までに**富郷ダム**に貯留した量:約465万立方メートル(東京ドーム:約4杯分)

富郷ダム



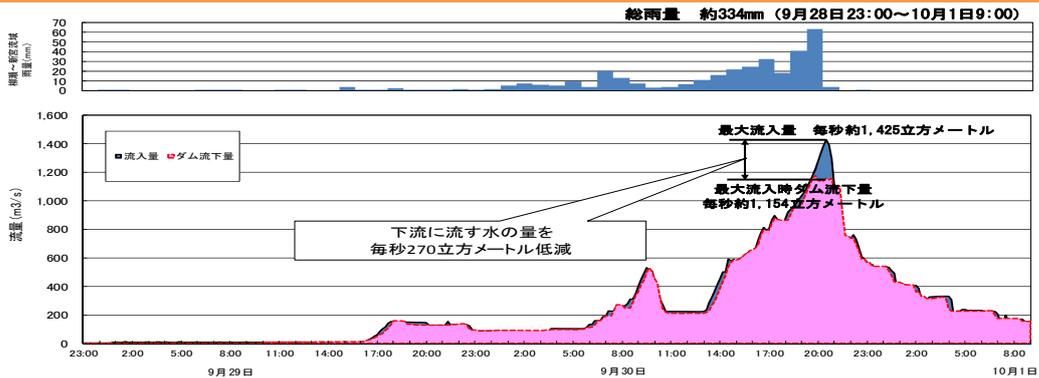
9月30日15時10分から9月30日24時00分までに**柳瀬ダム**に貯留した量:約401万立方メートル(東京ドーム:約3杯分)

柳瀬ダム



9月30日19時50分から9月30日21時00分までに**新宮ダム**に貯留した量:約178万立方メートル(東京ドーム:約1杯分)

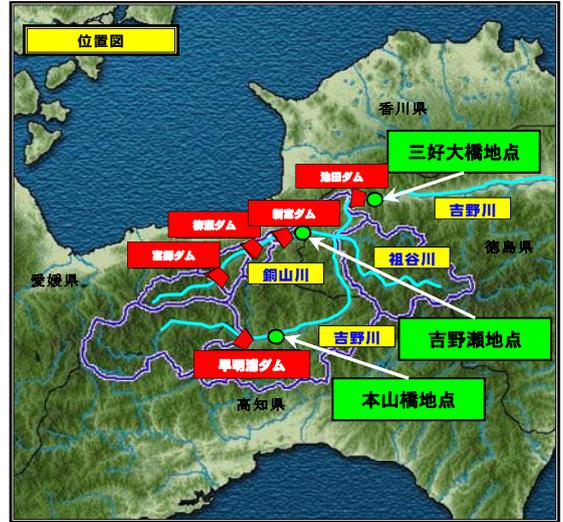
新宮ダム



吉野川上流ダム群の洪水貯留効果

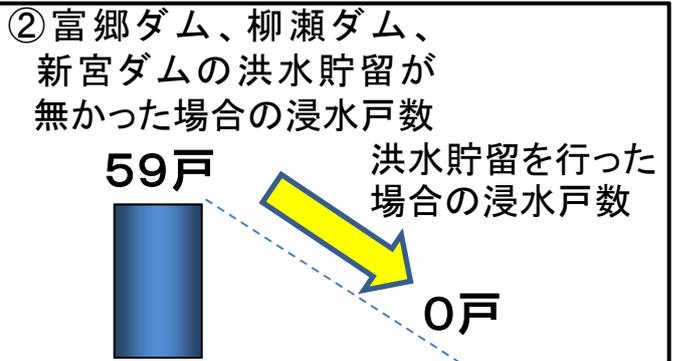
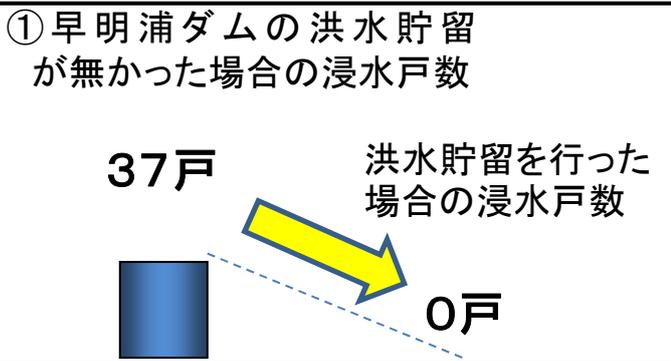
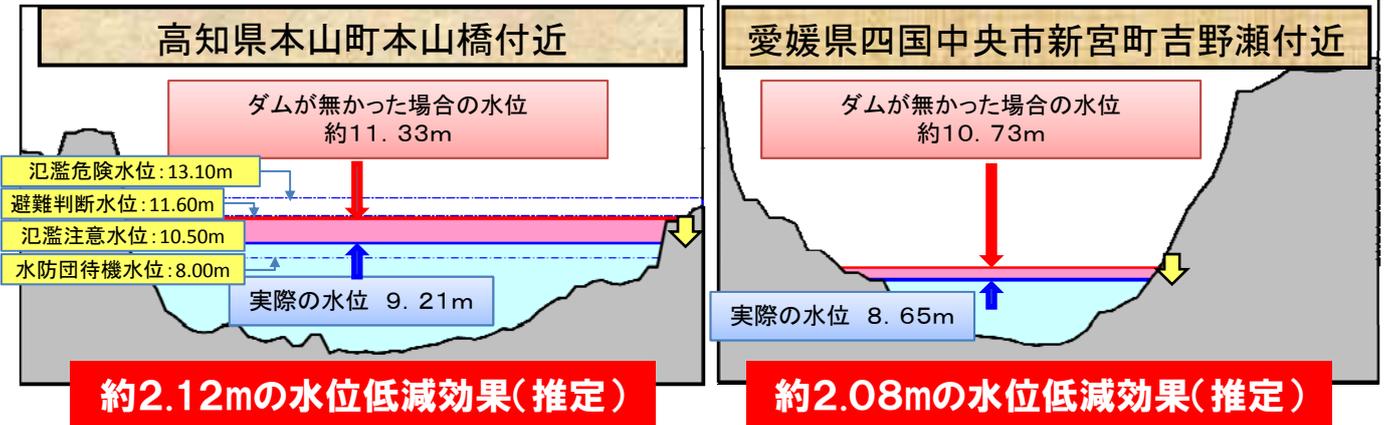
流域平均総雨量約292mm

池田ダム上流域では、9月28日23時から10月1日9時にかけて**流域平均総雨量約292mm**の降雨となりました。



吉野川上流ダム群の洪水貯留効果

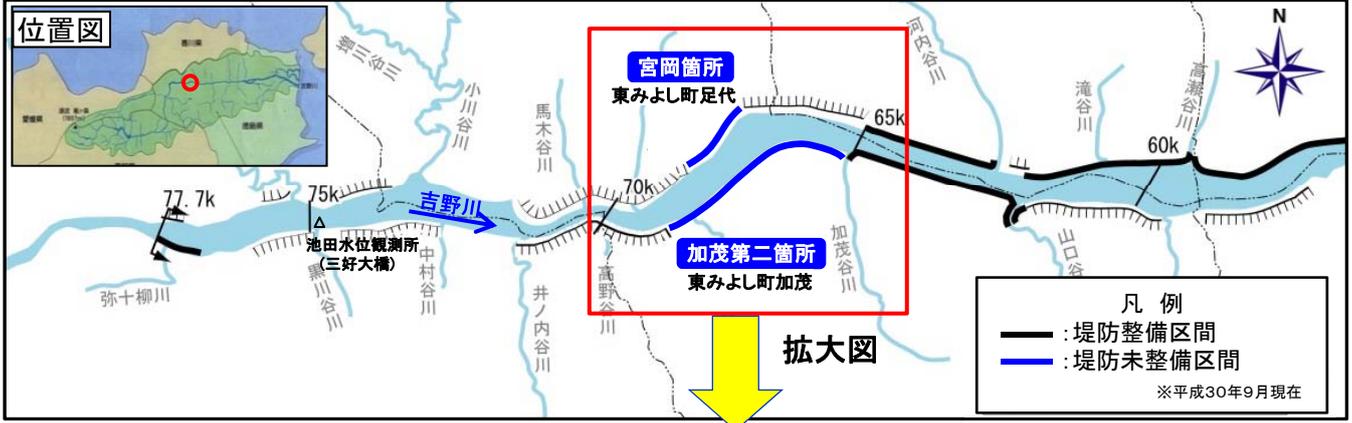
○吉野川上流ダム群（早明浦ダム、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダム、池田ダム）の洪水貯留効果により、**早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で約2.12m、新宮ダム下流の吉野瀬（新宮町）地点で約2.08m、三好大橋（三好市井川町）地点で約1.41m水位を低下したと推定されます。**



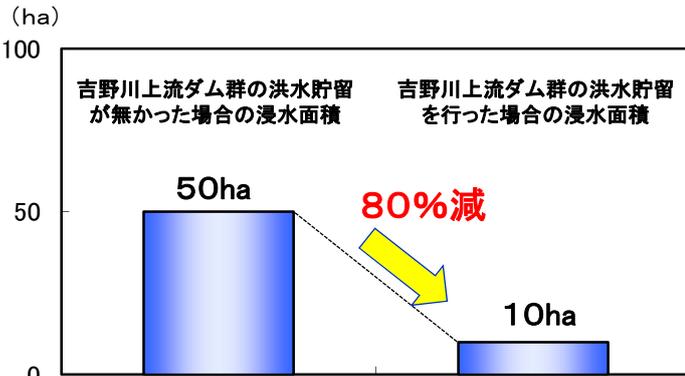
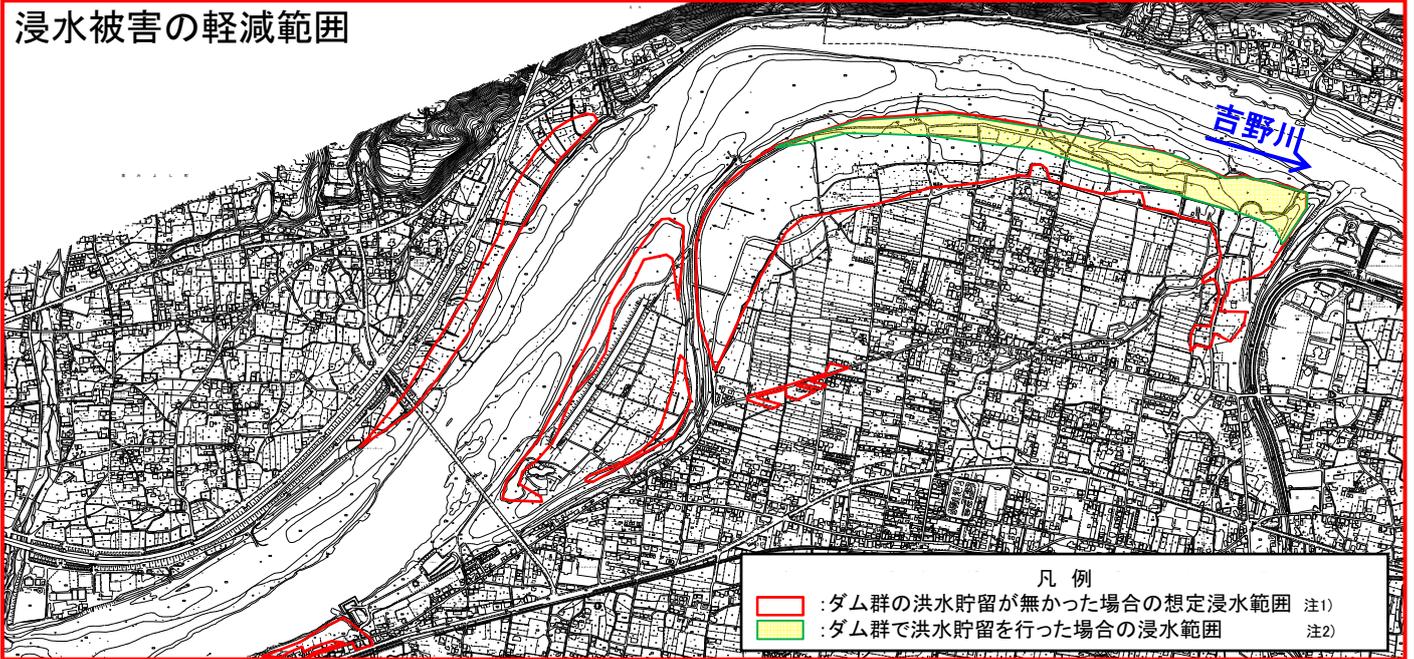
注) 上記①、②は計算に基づく概算値である。

吉野川上流ダム群の洪水貯留効果 (無堤地区で浸水被害を軽減)

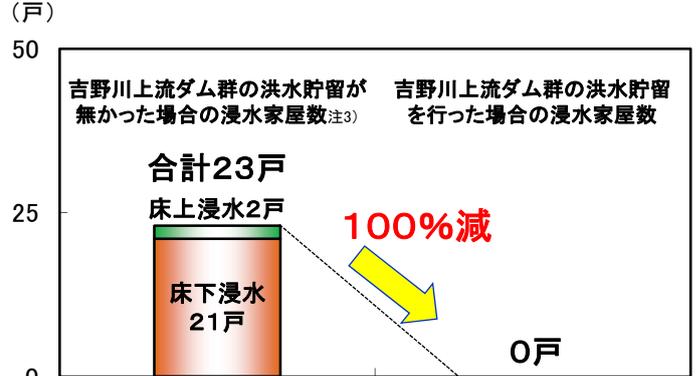
吉野川上流ダム群の洪水貯留によって、三好大橋付近で水位を約9.40mから約7.99mに約1.41m低下させたことにより、池田下流の無堤地区（加茂第二箇所・宮岡箇所）において、浸水面積を大きく軽減(80%減)できたと推定。



浸水被害の軽減範囲



注1) 今回の洪水で吉野川上流ダム群が無かった場合の水位は池田地点で9.40mと推定され、過去の同程度の水位での浸水範囲(実績)を示す。
注2) 今回の洪水(平成30年9月台風24号)による浸水範囲は概略調査のため、変わる恐れがある。



注3) 上流ダム群が無かった場合に想定される水位と、同程度の水位で浸水した当時の家屋数(実績)。

堤防整備による効果(吉野川)

- ・今回の洪水における池田水位観測所（三好大橋付近）のピーク水位は、氾濫危険水位の8.00mに迫る7.99mに達した。
- ・本洪水と池田水位観測所地点の水位が同程度の洪水である平成16年9月台風21号では浸水被害が発生したが、加茂第一箇所・太刀野箇所・芝生箇所の堤防が整備されたことにより浸水被害は発生しなかった。

位置図



【整備効果】

箇所名	過去の同程度洪水 (平成16年9月台風21号)	今回の洪水
東みよし町西庄～中庄 加茂第一箇所 (平成26年3月完成)	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水面積: 6.6ha ・町道等の冠水時間: 約3時間 	浸水被害なし
三好市三野町太刀野 太刀野箇所 (平成23年11月完成)	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水面積: 0.6ha ・町道等の冠水時間: 約3時間 	浸水被害なし
三好市三野町芝生～清水 芝生箇所 (平成23年7月完成)	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水面積: 27.2ha ・町道等の冠水時間: 約3時間 	浸水被害なし

※洪水規模の比較

- ・今回の洪水(平成30年9月台風24号) : 池田水位観測所ピーク水位 7.99m
- ・平成16年9月台風21号 : 池田水位観測所ピーク水位 8.36m(池田地点の水位が同程度の洪水)